

(午前10時23分 開 会)

○委員長（小松栄治） みなさん、おはようございます。このとおり雪が降り続いておりまして、屋根の雪下ろし、排雪等でみなさんも市民の人方も難儀しておると思います。

それではただいまから教育福祉常任委員会を開会いたします。当委員会に付託されました事件につきましては、別紙日程のとおり審査いたしますので、よろしくお願い申し上げます。なお、正確な会議録作成のため、発言はマイクにスイッチを入れてからお願いしたいと思います。審査に入る前に、当局からご挨拶をお願いいたします。吉川教育長、お願いいたします。

○教育長（吉川正一） あらためまして、おはようございます。ほんとに雪で大変だなんていう状況でございますが、今のところ学校施設、生涯学習施設等特にこの雪です。破損したとか今のところございません。いずれよく見ながらですね、毎日雪降り続いておりますので、安全確保には努めてまいりたいなと思います。

さて、今日の案件でございますが、全部で3件ほどということであります。うち2件は国の補助の申請を受けたということをお願いするものであります。一つ目は仙北中学校のトイレの洋式化に関わるものでございます。国の補助が出ましたので、何とかよろしくお願い申し上げます。それからもう1件は7月の22、23の大雨災害で協和中学校の野球場の法面が崩落いたしまして、そういうことで国の方に災害査定をお願いしまして、その後災害復旧事業が補助採択となりましたので、その予算計上となります。それからもう1件は、大曲交流センターの管理費でございます。いろんな生涯学習施設、あちらこちら少し痛んではきているんですが、特に利用者も多いこの交流センターの雨漏りがですね、かなりひどくなりまして、なんとかこの補正です。直したいなということで、ご理解賜ればなと思います。いずれこの3件について、よろしくご審議くださるようお願い申し上げます。以上です。

○委員長（小松栄治） はい、ありがとうございました。それでは審査に入りたいと思います。議案第3号「平成29年度大仙市一般会計補正予算（第12号）」を議題といたします。当局の説明を求めます。はじめに判田教育指導部次長兼教育総務課長。はい、次長。

○教育指導部次長兼教育総務課長（判田基） それでは、議案第3号「平成29年度大仙市一般会計補正予算（第12号）」のうち、教育総務課所管分についてご説明申し上げます。説明資料は、資料NO. 2-1「事業説明書」であります。こちらをお願いいたし

ます。教育総務課所管分は、4ページ、5ページの2件の事業がございますので、順次ご説明申し上げます。

まず4ページであります。事業名が、「校舎等維持補修及び施設整備費（中学校費）」で、内容は仙北中学校のトイレ改修事業であります。

補正額が4千958万円で、その財源内訳であります。国庫支出金が1千397万円、市債が2千670万円、一般財源が891万円であります。

事業の内容であります。下の4のA c t（改善）の欄をご覧ください。事業内容は、仙北中学校のトイレ改修事業であります。今回の補正は、国の平成29年度当初予算の追加採択に伴う補正予算でありまして、年度内に工事を完了することができないために全額繰越明許費の設定をお願いするものであります。平成30年度に事業実施しようとするものであります。

事業の概要であります。仙北中学校は昭和53年に建築しまして39年経過しております。そのため便器、手洗い、配管等の老朽化が進んでおりますので、今回校舎、体育館のトイレをすべて改修し、洋式化しようとするものであります。

事業費の内訳は、実施設計、工事監理等の委託費が355万6千円、工事請負費が4千602万4千円、合計4千958万円となっております。

仙北中学校トイレ洋式化事業につきましては、以上であります。

次に5ページをご覧ください。事業名が、「中学校施設災害復旧事業費」、これは補助分と単独分があります。

補正額が1千178万5千円で、補助分として新たに2千278万2千円を増額し、単独分を1千99万7千円減額するものであります。

補正額の財源内訳は、補助分では、国庫補助金が1千511万3千円、市債が760万円、一般財源が6万9千円あります。単独分では、市債が1千100万円、一般財源が3千円あります。

1のP l a nにありますとおり、この事業は、平成29年7月22日、23日の大雨によりまして協和中学校の野球場の法面が一部崩落したためにその復旧工事を行うというものであります。

2. D o（実行）にありますとおり、現在この箇所につきましては、二次災害を防ぐために、シートを被せるなどの応急措置を行っております。

3のCheck（評価）にありますとおり、復旧工事が完了するまでの間、危険箇所、付近に立ち入らないように安全確保する必要があるということで、ロープ等によりまして侵入防止策を取っているところであります。

4のACT（改善）の欄をご覧ください。

この事業につきましては、当初、国の災害復旧事業として採択されるか不明確であったことから、単独事業として補正予算を計上し議決をいただいたところであります。その後、国の災害査定によりまして鉄籠型多段積工法による災害復旧事業が補助採択されたことから、今回工事費の補正をお願いするものであります。

国の災害査定におきまして、野球場法面に設置された擁壁より下の民地に流出した土砂等の撤去につきましては、補助対象外とされたことから補助分と単独分に分けたものであります。

なお、表中の右にあります補正後の額の欄にありますとおり、いずれの事業も繰越明許費として平成30年度の実施をお願いするものであります。

以上、ご説明いたしました、ご審議のうえご承認くださいますようお願いいたします。以上であります。

○委員長（小松栄治） はい、ありがとうございます。続きまして、伊藤総合市民会館参事。お願いいたします。

○総合市民会館参事（伊藤ひろみ） 総合市民会館所管分についてご説明いたします。

資料NO. 2-1の「事業説明書」6ページをご覧ください。

10款5項5目18事業の「大曲交流センター管理費」についてご説明いたします。補正額は653万4千円、補正後の額は2千869万4千円。財源はすべて一般財源となります。

大曲交流センターはこれまでも利用者の利便性を図り、快適で安全な利用環境確保のため施設の改修を行って参りました。「事業説明書」の28年度にもこのような改修を行っております。この交流センターは、昭和58年の3月に建築されまして、築34年が経過し、建物自体の経年劣化が避けられない状況になってきております。

施設全体で雨漏りが発生しておりますけれども、施設規模が大きいために29年度から年次計画で改修を行うこととしているものです。

今後の方向性と29年度事業の概要についてですけれども、大曲交流センターの平

成 2 8 年度の利用実績は開館日数が 3 3 5 日、年間利用団体が 2 千 6 0 件、1 日当たりの平均利用者数は 1 5 5 人となっております。お手元に交流センターに利用調書ということで 3 年度分、2 9 年度は 1 2 月末までの分なんですけれども、利用実績を配布しておりますけれども、大変利用者数が多い施設となっております。

平成 2 7 年度にも講堂の一部で雨漏りが発生しまして部分補修を行いましたけれども、このたびステージ側でも雨漏りが発生したために早期に改修工事を実施したいと考えております。

また施設全体でも同様の状況が見られており、2 9 年度、3 0 年度、3 1 年度の 3 年度にわたり緊急性の高い部分から年次計画で改修工事を行うもので、2 9 年度は講堂上屋部分の 5 1 3 m²の防水改修工事を実施いたします。

なお年度内の工事完成が難しいことから、繰越明許費としております。

以上、ご説明申し上げましたが、よろしくご審議の上、ご承認くださいますようお願い申し上げます。

○委員長（小松栄治） はい、ありがとうございます。説明が終了いたしました。ただ今の説明に対しまして、質疑がございましたらお願いいたします。質疑ございませんか。はい、高橋さん。

○委員（高橋幸晴） 協和中学校の復旧工事で、当初単独で見積もりを取ったどごろの金額ど、それから今回災害の受けて工事請負費の金額、大分ちがう金額なんですけども、これは施工方法が違うのか、それともということで倍ぐらいの違いが出てきたのか。

○委員長（小松栄治） はい、判田次長。

○教育指導部次長兼教育総務課長（判田基） はい、ご説明申し上げます。増額となった理由でありますけれども、一つは被災原因を完全に取り除くために廃水処理等の一部について工法を見直したということがあります。それからもう一つは、秋田県の方針といたしまして崩落した土砂につきましては、使用しないとしたことからその撤去、運搬、初度費用等が掛かり増ししてきたということが増額となった理由であります。

○委員長（小松栄治） 鉄籠型ってちょっと説明してけれ、そのあたり。はい、次長。

○教育指導部次長兼教育総務課長（判田基） 鉄籠型というのは、碎石を鉄製の籠状なものを積み上げて、下の方に積み上げて多段階ということで複数の積み重ねで補強していくという。

○委員（高橋幸晴） まず分がったってが、分がったような分がないような。

- 委員長（小松栄治） 他にございませんか。はい、藤田さん。
- 委員（藤田和久） 大仙市全体で学校トイレの改修は、今の時点で大体何%ぐらい終わってるでしょうか。
- 委員長（小松栄治） はい、次長。
- 教育指導部次長兼教育総務課長（判田基） 今年度実施しているものが完了しますと51.5%ということになります。
- 委員長（小松栄治） 藤田さん、よろしいですか。
- 委員（藤田和久） はい。
- 委員長（小松栄治） 他にございませんか。大山さん。
- 委員（大山利吉） この広域交流センターの利用状況。その他に入ってるすか、広域の職員の人方。それとも、これにあれば入ってない？広域圏の職員の方。
- 総合市民会館参事（伊藤ひろみ） 入っていません。
- 委員（大山利吉） いませんか？
- 総合市民会館参事（伊藤ひろみ） その他の部分は、※印にあるように、その他の部分金額だけここに入れてますけど、付属の設備利用とか冷暖房料の部分をその他という欄に金額のみ入れております。
- 委員（大山利吉） あど、もう1点。
- 委員長（小松栄治） はい、大山さん。
- 委員（大山利吉） 近い将来消防庁舎が完成すると広域の職員の方々移動するわけですが、あの現在のスペース何かお考えありますか。どういうふうな活用したいとか。
- 総合市民会館参事（伊藤ひろみ） はっきりまだ決まっていませんけども、今2階にフレッシュ広場という学校に不登校気味の方とかが2階で利用されている場所があるんですけども、そこを利用、活用がしやすいように今の1階の広域の部分に移して、今の2階のフレッシュ広場さんが入ってある所を何か会議室的な用途として。はっきりとはまだ決まっておられませんけれども検討中ということで。
- 委員長（小松栄治） はい、大山さん。
- 委員（大山利吉） 伊藤さん、あれ、あれだっけが、広域の方から利用料金取ってるんだよな。取ってねっけが。
- 総合市民会館参事（伊藤ひろみ） 確か頂いてます。
- 委員（大山利吉） ません？

- 総合市民会館参事（伊藤ひろみ） 頂いてますね。
- 委員（大山利吉） 年間なんぼぐれだっけ。7、80万だっけが。なんぼぐれ。
- 総合市民会館参事（伊藤ひろみ） ちょっと調べないとあれですけども、頂いてはいますね。
- 委員（大山利吉） 頂いてるという。
- 総合市民会館参事（伊藤ひろみ） はい。
- 委員（大山利吉） 頂いてるだよな。
- 総合市民会館参事（伊藤ひろみ） 後で調べて。
- 委員（大山利吉） なんも、なんも、いい。結局広域の職員の人数はこれさが入っていないっていうごどだすよね。そして利用料金にも入っていないということですか。
- 総合市民会館参事（伊藤ひろみ） そうですね。これは日々申請して借りていただいている分を載せているだけで、多分年間いくらとかそういったまとまった金額の部分は入っていないです。
- 委員長（小松栄治） はい、大山さん。
- 委員（大山利吉） それはそれで分かりました。これだけ年間利用されている施設ですので、この雨漏りなんかはまずちょっと番外ですので、なるべく早く改修するようにお願いはしますが、予定は、工期はいつ頃までお考えですか。
- 総合市民会館参事（伊藤ひろみ） 今冬場です。
- 委員長（小松栄治） はい、部長。
- 生涯学習部長（安達成年） その点につきましては、建築住宅課の方と今相談いたしまして、なるべく早い時期に発注をいたしまして、雪消えと同時にと言いますか。で、当然その雪の状態にもよりますけれども、終了するのがなるべく早く、4月頃には終わるような状況でいきたいなと思ってますので。当然繰り越すというふうな形にも取らせていただいておりますので、一応なるべく早い発注をしたいと思ってます。
- 委員（大山利吉） はい、分かりました。よろしくお願いします。
- 委員長（小松栄治） ありがとうございます。他に質疑ありませんか。

（ 「なし」と呼ぶ者あり ）

- 委員長（小松栄治） はい、ないようですので質疑を終結いたします。これより討論を行います。討論はありますか。

（ 「なし」と呼ぶ者あり ）

○委員長（小松栄治） 討論なしと認めます。これより採決いたします。本件は原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（ 「異議なし」と呼ぶ者あり ）

○委員長（小松栄治） ご異議なしと認め、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で当委員会に審査付託となりました議案の審査は終了いたしました。

なお、本委員会の審査報告書及び委員長報告の案文につきましては、委員長にご一任をお願いしたいと思いますがご異議ございませんか。

（ 「異議なし」と呼ぶ者あり ）

○委員長（小松栄治） ご異議なしと認め、そのように決しました。

これをもちまして、教育福祉常任委員会を閉会いたします。大変ご苦労様でした。

（ 閉 会 午前10時42分 ）

委員会条例第29条第1項の規定により、ここに署名する。

平成 年 月 日

教育福祉常任委員会委員長